社会福祉充実残額算定シート

1．「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産（a）	3,320,964,031
負債（b）	298,238,949
基本金（c）	255,097,116
国庫補助金等特別積立金（d）	970,733,169
合計（a－b－c－d）	1,796,894,797

手入力（必須入力）するセルです（※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。）

計算式が設定されており、入力することはできません。

手入力するセルです。（不明の場合は、記載要領に従って入力してください）

合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。

2．「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

（1）財産目録における貸借対照表価額

合計（a）	2,067,328,643

（2）対応負債

項目	金額
1年以内返済予定設備資金借入金	19,079,000
1年以内返済予定リース債務	997,920
設備資金借入金	111,737,000
リース債務	3,243,240
合計（b）	135,057,160

（3）合計

項目	金額
財産目録合計（a）	2,067,328,643
対応負債合計（b）	135,057,160
対応基本金（c）	216,435,277
国庫補助金等特別積立金（d）	970,733,169
合計（a－b－c－d）	745,103,037

3．「再取得に必要な財産」

（1）将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積（少数点以下第４位を四捨五入）	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率						自己資金比率				合計額
						①建設工事費デフレーター	②１㎡当たり単価上昇率				①、②のいずれか高い方の率	③一般的自己資金比率	④建設時自己資金比率		③、④のいずれか高い方の率	
							一般的１㎡当たり単価（a）	当該建物の建設時の取得価額（b）	建設時延べ床面積（c）	a/（b/c）			建設時自己資金（d）	d/b		
法人・各施設	1981				1,454,087,693	1.294	250,000	3,063,458,790	-	-	1.294	22%	-	-	22.0%	413,949,684
合計																413,949,684

※　割合は小数点第4位四捨五入。

※　行が不足する場合は適宜追加すること。

（2）大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額（a）	一般的大規模修繕費用比率（b）	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額（①、②のいずれか）
				貸借対照表価額（c）	合計額②（（a×b）×c/（a+c））	
1,454,087,693	30%	-	-	1,609,371,097	229,169,073	229,169,073
						229,169,073

（3）設備・車輌等の更新に必要な費用

合計	1,927,321,776

（4）合計

項目	金額
将来の建替費用	413,949,684
大規模修繕に必要な費用	229,169,073
設備・車輌等の更新に必要な費用	1,927,321,776
合計	2,570,440,533

4．「必要な運転資金」

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	1,660,125,866	12	3	415,031,466

5．「計算の特例」

項目	金額		月数	合計額
年間事業活動支出	-	12	12	-

6．「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計
活用可能な財産	1,796,894,797	
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	745,103,037	3,730,575,036
再取得に必要な財産	2,570,440,533	
必要な運転資金	415,031,466	
計算の特例		
合計	-1,933,680,000	